

安永智秀・高井幹夫・中谷至伸. 2001. 日本原色カメムシ図鑑 陸生カメムシ類 第2巻.  
全国農村教育協会, 東京. 350pp. ISBN: 9784881370896

## 大阪府におけるオオウロコチャタテの記録と国内分布文献記録

### A Record of *Stimulopalpus japonicus* in Osaka Prefecture and literature

#### distribution records in Japan

オオウロコチャタテ *Stimulopalpus japonicus* Enderlein, 1907 は人家の周りにも普通に見られ、岩の表面や人家のブロック塀に生息するウロコチャタテ科の一種である(吉澤, 1999)。国内では Johnson et al.(2020)及び筆者が確認する限り、東京都(伊藤, 1977; 吉澤, 2000)、愛知県(間野, 2018)、奈良県(奈良県レッドデータブック改訂委員会, 2017)、岡山県(Enderlein, 1907: この記録は岡山県野生動植物調査検討会(2020)の分布記録整理に含まれていない)、四国県不明(富田・芳賀, 1992)、福岡県(吉澤, 2016)で記録があり、筆者は兵庫県でも記録しているが(池田, 投稿中)、大阪府では大阪府(2000)にも記述はなく、記録がないと思われる。



図 7 大阪府のオオウロコチャタテ

筆者は2016年8月26日13時頃、大阪府河内長野市滝畑天神社(大梵天王社)で、本種を撮影しているのここに報告する(図7)。

1ex., 大阪府河内長野市滝畑天神社, 26. VIII. 2016, 筆者撮影.

同科には2種いるが(日本昆虫目録編集委員会, 2016)、オオウロコチャタテにみられる頭部に1対の淡黄褐色の円斑があり(伊藤,

2016)、オオウロコチャタテにみられる頭部に1対の淡黄褐色の円斑があり(伊藤,

1977; 吉澤, 2000)、伊藤 (1977) の標本と暗褐色の地に灰白色の斑紋が類似していることから、本種とした。神社の階段で徘徊する様子が確認できた。

#### 引用文献

Enderlein, 1907. The scaly winged Copeognatha (Monograph of the Amphientomidae, Lepidopsocidae, and Lepidillidae in relation to their morphology and taxonomy).

Spolia Zeylanica, 4: 39-122. ISSN: 0081-3745

池田健一, 投稿中. 井吹台谷口公園の昆虫類と虫こぶ (付録: 神戸市の虫こぶの文献記録). きべりはむし ISSN: 1884-9377

伊藤修四郎, 1977. チャタテムシ目. pp.88-92. 伊藤修四郎・奥谷禎一・日浦勇

(編) 原色日本昆虫図鑑 下 全改訂新版. 保育社. 大阪. ISBN: 9784586300037

Johnson, K. P., Smith, V. S. & Hopkins, H. H., Last updated 2020. Psocodea Species File Online. Version 5.0/5.0. [retrieval date]. <http://Psocodea.SpeciesFile.org>

間野隆裕, 2018. グリーンデータブックあいち 2018 昆虫編. D-1-151. 愛知県の生物多様性 グリーンデータブックあいち 2018. 哺乳類・鳥類・爬虫類編, 両生類編, 汽水・淡水魚類編, 昆虫編, クモ編, 苔類・ツノゴケ類編, 愛知県環境部自然環境課. 名古屋. <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/greendatabook.html>

奈良県レッドデータブック改訂委員会, 2017. 奈良県野生生物目録, 422pp. ぐらし創造部景観・環境局景観・自然環境課. 奈良.

日本昆虫目録編集委員会, 2016. 日本昆虫目録 第4巻 準新翅類, xxxiii, 629pp. 権歌書房, 福岡. ISBN: 9784434218224

岡山県野生動植物調査検討会, 2020. 岡山県野生生物目録 2019, 516pp. 岡山県環境文化部自然環境課. 岡山.

大阪府, 2000. 大阪府野生生物目録, 351pp. 環境農林水産部緑の環境整備室. 大阪.

富田康弘・芳賀和夫, 1992. 日本産チャタテムシ目の目録と検索表. 菅平高原実験センター研究報告, 12: 35-54. ISSN: 0913-6800

吉澤和徳, 1999. チャタテムシの生物学 (1). インセクタリウム, 36(6): 156-161. ISSN: 0910-5204

吉澤和徳, 2000. 皇居の動物相調査で得られたチャタテムシ目昆虫. 国立科学博物館専報, 36: 29-34. ISSN: 0082-4755

吉澤和徳, 2016. 昆虫学概論・各目解説 (1) 咀顎目 (カジリムシ目) の系統的位置と

## 大阪府におけるヒコサンエグリゴミムシダマシ類似個体の記録

### A Record of *Uloma* cf. *hikosana* in Osaka Prefecture

ヒコサンエグリゴミムシダマシ *Uloma hikosana* Nakane, 1956 は本州・四国・九州に分布するコウチュウ目ゴミムシダマシ科の一種である (Masumoto & Nishikawa, 1986; 秋田・益本, 2016)。本種は関西では三重県 (Masumoto & Nishikawa, 1986; 秋田・益本, 2016)、奈良県 (Masumoto & Nishikawa, 1986: この記録は奈良県レッドデータブック改訂委員会 (2017) の分布記録整理に含まれていない)、京都府 (中濱ら, 2019) で記録があるものの、大阪府内では Masumoto & Nishikawa (1986)、大阪府 (2000)、高橋 (2011)、秋田・益本 (2016)、初宿ら (2020)、国土交通省 (2020年9月16日閲覧) を参照したものの、記録は確認できなかった。



図 8 大阪府のヒコサンエグリゴミムシダマシ類似個体

筆者は 2016 年 8 月 27 日 11 時半頃、大阪府河内長野市滝畑南葛城山にて本種♂に類似した個体を撮影したのでここに報告する (図 8)。同属には多数種みられ、マルセルエグリゴミムシダマシ *U. marseuli marseuli* Nakane, 1956 などの類似種もいるが、ヒコサンエグリゴミムシダマシでは体色が赤褐色で、上翅間室が強く点刻され (Masumoto & Nishikawa, 1986; 秋田・益本, 2016)、雄では前頭の正中に沿う窪み

は深くその両側が瘤状に盛り上がり、触角第 5-7 節内縁先端の小突起を欠き、前胸背板前縁の陥没部に接する部分は切り取られず (秋田・益本, 2016)、前胸背板押圧部は